

情報公開文書

研究課題名	肥厚性幽門狭窄症治療における手術と硫酸アトロピン療法と比較検討
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原 修一郎</u>
研究期間	(西暦) 倫理委員会承認日 ~ 2021年 4月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>当科では1998年10月より肥厚性幽門狭窄症に対して、硫酸アトロピンを静脈により投与する方法による治療(以下、硫アト療法と略す)を開始しました。硫アト療法が無効な症例には幽門筋切開手術(以下、手術療法と略す)を施行しました。また、最初から硫アト療法ではなく、手術療法を希望された症例には、準緊急手術として手術療法を施行してきました。今回これらの症例を比較検討いたします。</p> <p>(研究方法)</p> <p>1998年10月から2020年11月までに肥厚性幽門狭窄症のために当科に入院した症例を、カルテを用いて後方視的に比較検討いたします。</p>
試料・情報	<p>(試料・情報の項目)</p> <p>カルテデータ(発症年齢、受診までの病悩期間と症状、受診時の血液生化学検査所見、超音波検査所見、入院期間、治療による合併症、退院後経過。また手術療法を行った症例については、手術所見、術中・術後合併症、術後経口摂取開始までの時間、術後退院までの期間)</p>
研究対象者	<p>1998年10月から2020年11月の間に当院小児外科に肥厚性幽門狭窄症により入院された患者。</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。</p>
お問い合わせ先	<p>〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原 修一郎</u></p> <p>TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439</p>